



新型アストンマーティン Vantage GT3 国際大会にて初優勝 アストンマーティン初の SUPER GT 制覇

- 新型アストンマーティン Vantage GT3、国際クラスでの初優勝を日本にて飾る
- D'station Racing が鈴鹿 3 時間レースで優勝し、アストンマーティンにとっても、権威ある AUTOBACS SUPER GT シリーズでの初優勝
- 藤井誠暢とチャーリー・ファグがポール・優勝・ファステストラップを獲得し、Vantage が GT300 クラスにて素晴らしいパフォーマンスを披露
- パートナーチームである Heart of Racing も、デトロイトで行われた IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権にて初の表彰台を新型 Vantage GT3 で獲得



2024 年 6 月 4 日、鈴鹿（日本）：

新型アストンマーティン Vantage GT3 は、日本最高峰の耐久レース選手権である AUTOBACS SUPER GT シリーズにて GT300 クラス優勝を果たし、シルバーストーンでの披露からわずか 4 ヶ月で、国際戦での初優勝を飾りました。この勝利は、英国のウルトラ・ラグジュアリーブランドであるアストンマーティンにとっても、同シリーズ初の勝利となりました。

FIA 世界耐久選手権 [WEC] にアストンマーティンのパートナーチームである日本の D'station Racing は、鈴鹿 3 時間耐久ロードレースでドライバーの藤井誠暢（日本）とチャーリー・ファグ（英国）と共に圧倒的な力を見せつけ、初めて獲得したクラスポールポジションから優勝へと駆け抜けました。藤井誠暢は、ドライビングだけでなくチームのマネージング・ディレクターも務め、今回決勝レースでの最速のラップタイムを記録して自身としても 2016 年以後の SUPER GT 優勝となりました。

D'station Racing の #777 アストンマーティン Vantage GT3 は、チーム一丸となった見事なパフォーマンスもあり、最終的には 2 位のチームを 38 秒引き離してフィニッシュしました。

新型 Vantage GT3 にとって最高の結果となったこの週末、アストンマーティンのもうひとつの WEC パートナーチームである米国の Heart of Racing も、米最高峰の耐久シリーズである IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権デトロイト戦において今季最高の成績を収め、GTD Pro クラス 3 位に入賞しました。

アストンマーティンのワークスドライバーであるロス・ガン（英国）と GTD Pro クラスの優勝経験者であるアレックス・リベラス（スペイン）は、「モーターシティ」に設定された短い市街地コースを走る 100 分間のスプリントレースで 6 番手からレースを展開して、新型 Vantage GT3 は IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権 初の表彰台を獲得しました。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者であるアダム・カーターは、次のように述べています。「新型アストンマーティン Vantage GT3 が、GT ベースの耐久レースのいかなるレベルでも成功できると確信していました。その初勝利の舞台が日本であったということや、それが SUPER GT という名門レースであったこと、我々がこれまで一度もそのシリーズで優勝経験がなかったということ、そして何より 2019 年にパートナーシップを結んで以来この成功を達成するために D'station Racing が行ってきた素晴らしい活動を考えると、とても満足いく結果が得られました。また、Heart of Racing がデトロイトで表彰台を獲得したことも喜ばしいです。両チームが、ル・マン 24 時間レースの準備が本格的に始まる前の週に好成績を記録したことは、シーズンの最も重要な局面に向かう全員の自信にもつながりますし強く後押しすることになるでしょう。」

D'station Racing は、2019 年に先代 Vantage GT3 からアストンマーティン・レーシングのパートナーチームとなり、アストンマーティンは同チームで SUPER GT に初出場しました。2021 年には、D'station Racing はアストンマーティンで日本国内タイトルを獲得した初のチームとなり、藤井誠暢、チームオーナーの星野敏（日本）、近藤翼（日本）の 3 人でスーパー耐久の栄冠を勝ち取りました。チームの WEC での最高位は 2023 年バーレーン 8 時間レースの GTE-Am クラス 2 位でしたが、今季は開幕戦カタール 1812km レースの LMGT3 クラス 3 位という好成績で幕を開けていました。

現在、アストンマーティンが誇る新型 **Vantage GT3** チャレンジャーは、ヨーロッパ、アジア、米国の **FIA** 世界耐久選手権、**IMSA** ウェザーテック・スポーツカー選手権、ファナテック **GT** ワールドチャレンジの各シリーズ、さらには日本の **SUPER GT** など、**10** 以上の重要な **GT** シリーズで **25** 台が活躍しています。この数字は、新型 **Vantage GT3** にとっての初のシーズンが終わるまでに少なくとも **35** 台に増えると予想されています。

数々の世界選手権を勝ち取ってきた歴代モデルの後継であり、ウルトラ・ラグジュアリーな新型ロードカーの **Vantage** と同じ機械的アーキテクチャを採用する新型アストンマーティン **Vantage GT3** は、今年 2 月に初公開されました。**Vantage GT3** はアストンマーティンの実績ある接着アルミシャーシを中心に組み立てられ、恐るべき **4.0** リッター**V8** ツインターボエンジンを動力源としています。ノーズからテールまで一新された感動的なエアロダイナミクス、全面的に見直されたサスペンション、最先端のエレクトロニクスが、このアストンマーティンの最新世代の **GT** カーに世界最強のポテンシャルをもたらしています。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-TBYc2qiDLM>

アストンマーティン・ラゴндаについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって**1913**年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、**Vantage**、**DB12**、**DBS**、**DBX**に加え、同社初のハイパーカーである**Valkyrie**など、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、**Racing. Green.**サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは**2025**年から**2030**年にかけて、**PHEV**と**BEV**を含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーと**SUV**のラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で**50**以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリー**SUV**の**DBX**は、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、**2030**年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラグオンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific
有澤 久美子

kumiko.arisawa@astonmartin.com

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 御園生資己：090-8063-7117

astonmartin-pr@pibc.co.jp